

令和 8 年 1 0 月
公立はこだて未来大学

令和 1 0（2 0 2 8）年度入学者選抜における変更について（予告：第 3 報）

令和 1 0（2 0 2 8）年度入学者選抜（令和 9 年度実施）における変更点について、以下のとおりお知らせします。

本予告は現時点の情報をお知らせするものであり、今後変更があった場合には、随時本学 Web サイト等で公表します。また、出願を検討される際には、必ず令和 1 0 年度入学者選抜要項および学生募集要項をご確認ください。

今回お知らせする内容

※既に公表している「予告（第 1 報）」および「予告（第 2 報）」も併せてご確認ください。

1. 学校推薦型選抜における新しい面接方式の導入について
2. 新しい面接方式導入後の学校推薦型選抜の方法（試験内容および配点等）

なお、第 3 報公表時点における各選抜の全体の概要については、別紙をご参照ください。

1. 学校推薦型選抜における新しい面接方式の導入について

本学の令和10年度学校推薦型選抜につきまして、評価方法を以下のとおり変更（面接の追加）することとしましたのでお知らせします。

本学ではこれまで、言語理解・言語表現の基礎的能力、および思考力・判断力・表現力を多角的に評価するため、従来の面接に代わり新たに小論文を課す旨を予告しておりました。

しかしながら、文部科学省より通知された「令和9年度大学入学選抜実施要項」（令和8年5月27日付）において、学校推薦型選抜では原則として面接を必須とする旨が明記されました。

これを受け、本学では文部科学省の方針に基づき、従来のものとは異なる新しい方式の面接を導入することといたしました。あらかじめ予告していた基礎学力検査および小論文に新方式の面接を加えることで、「学力の3要素」をより多角的かつバランスよく評価する選抜を実施します。

【変更後の選抜（評価）方法】

- ・ 基礎学力検査 （予告済み）
- ・ 小論文 （予告済み）
- ・ 面接〔新方式〕 （今回追加）

※ 受験者に対して3～5問の質問を行い、それぞれの質問に対して1分程度で答えていただきます。簡潔でわかりやすい言葉で表現してください。

上記選抜方法の具体的な内容や配点等の詳細は、後述の「新しい面接方式導入後の学校推薦型選抜の方法（試験内容および配点等）」をご確認ください。

2. 新しい面接方式導入後の学校推薦型選抜の方法（試験内容および配点等）

【現行】（令和9年度学校推薦型選抜）

日程	試 験 内 容 等		
1 日 目	適性検査	総合問題Ⅰ (150点) 【90分】	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題（100点） 2. データに関する基礎的な問題（50点）
		総合問題Ⅱ (100点) 【60分】	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題（50点） 2. 英語能力を問う問題（50点）（注4）
2 日 目	面 接	対話面接 (100点) (※1)	思考力・判断力・表現力、主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。対話面接では、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

※1 対話面接では、あらかじめ準備した内容を機械的に述べるのではなく、その場で示された問いについて、よく考え、わかりやすい言葉で表現してください。他者と理解し合おうとする態度や試みを重視します。



【変更後】（令和10年度学校推薦型選抜）

日程	試 験 内 容 等		
1 日 目	基礎学力検査	総合問題 (150点) 【90分】	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題（100点） 2. データに関する基礎的な問題（50点）
	小論文	小論文 (50点) 【40分】	言語理解・言語表現の基礎的な能力、および思考力・判断力・表現力を多角的に評価します。(※2) 記述問題では、本文の内容を正しく理解したうえで、それをふまえた自分の考えとその理由を、200字程度で論理的に述べる問題などを出題します。
2 日 目	面 接	面接 (50点) (※3)	思考力・判断力・表現力・主体性、および本学で学ぶうえでの適性などを検査します。面接時には、志望理由書や調査書などの出願書類を活用します。

※2 小論文の出題例は、サンプル問題をご確認ください。

※3 本面接では、受験者に対して3～5問の質問を行い、それぞれの質問に対して1分程度で答えていただきます。簡潔でわかりやすい言葉で表現してください。